

| 授業コード / Code | 科目名 / Course Title | 担当者 / Instructor | 履修年次 / Semester | 授業形態・単位数 / Style・Credits | 必修選択の別 / compulsory subjects or optional subjects |
|-----------------|--------------------|------------------|--------------------|-----------------------------|---|
| j40208 | 人間関係指導法 | 中島 緑 | 2年次・前期 | 演習・1単位 | 幼免・保育士必修 |

| 授業の概要 / Course Outline |
|---|
| <p>領域「人間関係」のねらい及び内容について、乳幼児の人間関係の発達の特徴を踏まえ理解を深める。その上で、乳幼児の発達にふさわしい主体的・対話的で深い学びを実現する保育を構想し、実践する方法を身に付ける。具体的には配布プリント、視聴覚教材(映像)を用いた講義及びグループワーク形式での授業を行う。</p> |

| 到達目標 / Attainment Objectives | ディプロマポリシーとの対応関係 / Relationship with the diploma policy |
|--|---|
| 1. 領域「人間関係」のねらいと内容を理解する。 | C-① D-② |
| 2. 領域「人間関係」に関わる具体的な指導場面を構想する力を身に付ける。 | A-② D-① |
| 3. 領域「人間関係」における現代的課題を理解し、自らの言葉で説明できるようになる。 | A-① B-② |
| | |

| 授業方法 / Method of instruction | 対面授業 |
|------------------------------------|---|
| 活用される授業方法 Teaching methods used | <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> PBL(課題解決型学習) <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> 実習・実技 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 該当なし |

| 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation | | |
|--|-----------------|--|
| 種別 / Kind | 割合 / Percentage | 評価基準等 / Grading Criteria etc. |
| 定期試験(筆記) End of Semester Examination (Written) | 0% | |
| レポート試験 Report Examination | 40% | 授業で学んだ内容を的確にとらえ、記述できているか。事前に提示する評価基準(ルーブリック)に基づいて評価する。 |
| 実技試験 Practical skill test | 0% | |
| 平常点評価 Continuous Assessment | 60% | 授業時に行うグループワーク・ディスカッションへの取組みと理解(発表、意見、質問等) |

| 教科書 / Textbooks |
|---------------------|
| 毎回の授業でプリントや資料を配布する。 |

| 参考書 / Reference Books |
|-----------------------|
| 適宜指示する。 |

| 予習・復習 / Preparation・Review |
|--|
| 予習: 授業ごとに指定する課題に対する各自の答えを用意してくる。 復習: 予習で考えた課題について、授業で学んだ内容を踏まえて再考する。(90分程度) |

| 課題に対するフィードバック方法 / How to give feedback on tasks |
|---|
| 毎回の授業冒頭に、前回の授業課題のフィードバックを行う。 |

| 特記事項 / Special Note |
|---------------------|
| |

授業スケジュール / Course Schedule

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

| 授業回数 Lecture | テーマ / Theme |
|-----------------|---|
| | 内容 / Contents |
| 01 | オリエンテーション・領域「人間関係」の全体像をつかむ |
| | 5領域の中の領域「人間関係」の位置づけ。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を軸に考える。 |
| 02 | 社会の変化と「人間関係」 |
| | 子どもを取り巻く人間関係について考える。自らの育ちと周囲の人間関係について認識する。 |
| 03 | 子どもの発達を踏まえた援助の考え方① |
| | 0歳児から3歳未満児の育ちの姿に沿った援助を考える。 |
| 04 | 子どもの発達を踏まえた援助の考え方② 仲間を意識する姿から考える |
| | 3児歳の育ちの姿に沿った援助について、実践映像から考える。 |
| 05 | 子どもの発達を踏まえた援助の考え方③ 仲間との葛藤場面から考える |
| | 4歳児の育ちの姿に沿った援助について、実践映像から考える。 |
| 06 | 子どもの発達を踏まえた援助の考え方④ 仲間との関係から自己を形成していく姿から考える |
| | 5歳児の育ちの姿に沿った援助について、実践映像から考える。 |
| 07 | ルールのある遊びと保育者の援助 |
| | 遊びの中で生まれる葛藤から子どもにとって意味のあるきまりを引き出す保育者の支援について考える。 |
| 08 | きまりをめぐる様々な幼児の葛藤と援助 |
| | 家庭生活・園生活・社会生活のきまり・規範意識について考える。 |
| 09 | 他者との関わりの中で自他の気持ちに気付く援助の在り方 |
| | 事例をもとに検討する。 |
| 10 | 幼児にとって意味のある行事のねらいと活動について考える |
| | 行事が幼児の生活にどのような意味を持つのか、領域「人間関係」の視点で考える。 |
| 11 | 個と集団の育ちについて考える |
| | 個人の育ちと集団の形成について、事例をもとに検討する。 |
| 12 | 長期的な見通しをもった保育を構想する |
| | 子どもの姿から、育ってほしい姿を長期的に見通し、保育の展開を考える。 |
| 13 | 地域の中で育つ子ども、地域の中の園 |
| | 地域の特徴等を踏まえ、幼児期に経験させたい地域の人との関わりについて考える。 |
| 14 | 多様な人との関わりを通して豊かな人間関係を育むために |
| | 様々な人との関わりにある特徴を踏まえて、子どもの模範となる保育者の在り方を考える。 |
| 15 | 領域「人間関係」における現代的諸問題 |
| | これまでの授業を総括的に振り返る。 |